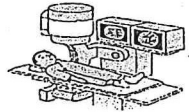


冠動脈形成術を受けられる方へ(手首の血管から)

この治療は、手首の血管(動脈)から風船(バルーン)のついたカテーテルを入れ、風船をふくらませて、せまくなっている心臓の血管を広げる治療です。

氏名 _____ 様 主治医 _____ 受け持ち看護師 _____

治療は 月 _____ 日 _____ 午前・午後 _____ 番です。 病棟から _____ 時 _____ 分頃出かけます。

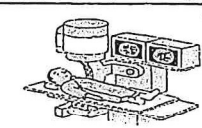
月日	/ ~ /		/	
項目	入院~前日	治療当日(治療前)	治療当日(治療後)	治療後1日目(退院)
達成目標	①胸痛発作時、看護師に伝えることができる。 ②治療が納得して受けられる。 ③治療のイメージができる。		①胸痛、動悸、吐き気、頭痛、手足の痛み・しびれなど、異常時知らせることができる。 ②指示の安静が守られる。	①治療結果、次の治療計画がわかる。 ②日常生活の問題点がわかり、解決行動がとれる。 ③退院後の日常生活の注意点がわかる。
治療・薬剤 (点滴・内服 処置・リハビリ)	・足の甲に印をつけます。 ・股の付け根の毛をそります。	・点滴は右手から(7時半・12時)頃 始めます。点滴前にシャツを脱ぎ、病衣だけ 着てください。 ・中止と伝えられた薬以外は飲んでください。 ◎中止薬	・翌朝まで点滴があります。	
検査	・入院時採血検査と尿検査があります。 ・胸のレントゲンを撮ります。 ・心臓エコー検査を行なうことがあります。 ・入院時と治療前日に心電図をとります。 (胸に印をつけます。消さないでください。)	・局所麻酔なのでお話することができます。 ・医師や看護師が側にいます。気分が悪く なったり、苦しい時はお知らせください。	・病室に戻ってから心電図モニターをつけます。 ・定期的に心電図をとります。	・朝、心電図をとります。
活動・安静度	・自由または医師の指示となります。	・検査室まで帽子をかぶり、車椅子で行き ます。 ・身につけている貴重品・時計・眼鏡・指輪 コンタクトレンズ・入れ歯などは外してくだ さい。補聴器はつけていてください。	・治療後、左手首に止血バンドを巻いてきます。 病室に戻ったあと、看護師が止血バンドをゆる めていきます。 ・手首に痛みやしびれ・腫れがあるときは、お知 せください。 ・治療後6時間はベッド上で過ごしてください。 6時間後からはトイレ・洗面以外は安静に過ご してください。	・朝8時頃医師の診察があります。 診察の時に止血バンドを外します。 ・診察後は自由となります。
食事	・自由または医師の指示となります。	・(朝食・昼食)は食べられません。 ・水またはお茶を約500ml飲んでください。 (ジュース・牛乳・炭酸はやめてください)	・治療後より食事が取れます。 ・食べやすいようにおにぎりに変更します。	◎退院後の注意点 ・退院後、治療した部位が腫れる、硬いものが 触れる症状がある時は病院に相談して下さい。 ・入浴は2日目(/)から行えます。 ※手首を濡らさなければ1日目から入浴できます。 治療した部分を強くこすらないように注意してくだ さい。 傷口の絆創膏は入浴後に取ってください。
清潔	・入浴またはシャワー浴が行えます。 (入浴できない場合は体をふきます。)	・入浴、シャワーはできません。		
排泄	・自由	・自由	・治療後6時間は尿器、ポータブルトイレを 使用してください。 ・6時間後からトイレまで歩行できます。	
患者様および ご家族への説明 服薬指導 栄養指導	・医師から治療の説明があります。 ・看護師から入院生活と治療についての 説明があります。 ・入院中に薬剤師から薬について説明が あります。	◎治療前に準備してください ・水分500ml(水またはお茶)		・退院前に医師から治療結果の説明が あります。 ・看護師から日常生活の注意点、次回 予約、内服薬について説明があります。

冠動脈形成術を受けられる方へ(ひじの血管から)

この治療は、ひじの血管(動脈)から風船(バルーン)のついたカテーテルを入れ、風船をふくらませて、せまくなっている心臓の血管を広げる治療です。

氏名 _____ 様 主治医 _____ 受け持ち看護師 _____

治療は 月 _____ 日 _____ 午前・午後 _____ 番です。 病棟から _____ 時 _____ 分頃出かけます。


月日	/ ~ /		/	
項目	入院～前日	治療当日(治療前)	治療当日(治療後)	治療後1日目(退院)
達成目標	①胸痛発作時、看護師に伝えることができる。 ②治療が納得して受けられる。 ③治療のイメージができる。		①胸痛、動悸、吐き気、頭痛、手足の痛み・しびれなど、異常時知らせることができる。 ②指示の安静が守られる。	①治療結果、次の治療計画がわかる。 ②日常生活の問題点がわかり、解決行動がとれる。 ③退院後の日常生活の注意点がわかる。
治療・薬剤 (点滴・内服 処置・リハビリ)	・足の甲に印をつけます。 ・股の付け根の毛をそります。	・点滴は右手から(7時半・12時)頃 始めます。点滴前にシャツを脱ぎ、病衣だけ 着てください。 ・中止と伝えられた薬以外は飲んでください。 ◎中止薬	・翌朝まで点滴があります。	
検査	・入院時採血検査と尿検査があります。 ・胸のレントゲンを撮ります。 ・心臓エコー検査を行なうことがあります。 ・入院時と治療前日に心電図をとります。 (胸に印をつけます。消さないでください。)	・局所麻酔なのでお話することができます。 ・医師や看護師が側にいます。気分が悪く なったり、苦しい時はお知らせください。	・病室に戻ってから心電図モニターをつけます。 ・定期的に心電図をとります。	・朝、心電図をとります。
活動・安静度	・自由または医師の指示となります。	・検査室まで帽子をかぶり、車椅子で行き ます。 ・身につけている貴重品・時計・眼鏡・指輪 コンタクトレンズ・入れ歯などは外してくださ い。補聴器はつけていてください。	・治療後、左ひじに止血バンドを巻いてきます。 病室に戻ったあと、看護師が止血バンドをゆる めていきます。 ・ひじに痛みやしびれ・腫れがあるときは、お知 せください。 ・治療後6時間はベッド上で過ごしてください。 6時間後からはトイレ・洗面以外は安静に過ご してください。	・朝8時頃医師の診察があります。 診察の時に止血バンドを外します。 ・診察後は自由となります。
食事	・自由または医師の指示となります。	・(朝食・昼食)は食べられません。 ・水またはお茶を約500ml飲んでください。 (ジュース・牛乳・炭酸はやめてください)	・治療後より食事が取れます。 ・食べやすいようにおにぎりに変更します。	◎退院後の注意点 ・退院後、治療した部位が腫れる、硬い ものが触れる症状がある時は病院に 相談してください。
清潔	・入浴またはシャワー浴が行えます。 (入浴できない場合は体をふきます。)	・入浴、シャワーはできません。		・入浴は2日目(/)から 行なえます。
排泄	・自由	・自由	・治療後6時間は尿器、ポータブルトイレを 使用してください。 ・6時間後からトイレまで歩行できます。	治療した部分を強くこすらないように注意 してください。傷口の絆創膏は入浴後に 取ってください。
患者様および ご家族への説明・ 服薬指導 栄養指導	・医師から治療の説明があります。 ・看護師から入院生活と治療についての 説明があります。 ・入院中に薬剤師から薬について説明が あります。	◎治療前に準備してください ・水分500ml(水またはお茶)		・退院前に医師から治療結果の説明が あります。 ・看護師から日常生活の注意点、次回 予約、内服薬について説明があります。

冠動脈形成術を受けられる方へ(股の付け根の血管から)

この治療は、股の付け根の血管(動脈)から風船(バルーン)のついたカテーテルを入れ、風船をふくらませて、せまくなっている心臓の血管を広げる治療です。

氏名 _____ 様 主治医 _____ 受け持ち看護師 _____

治療は 月 _____ 日 _____ 午前・午後 _____ 番です。 病棟から _____ 時 _____ 分頃出かけます。

月日	/ ~ /		/	
項目	入院~前日	治療当日(治療前)	治療当日(治療後)	治療後1日目(退院)
達成目標	①胸痛発作時、看護師に伝えることができる。 ②治療が納得して受けられる。 ③治療のイメージができる。		①胸痛、動悸、吐き気、頭痛、手足の痛み・しびれなど、異常時知らせることができる。 ②指示の安静が守られる。	①治療結果、次の治療計画がわかる。 ②日常生活の問題点がわかり、解決行動がとれる。 ③退院後の日常生活の注意点がわかる。
治療・薬剤 (点滴・内服 処置・リハビリ)	・足の甲に印をつけます。 ・股の付け根の毛をそります。	・点滴は右手から(7時半・12時)頃始めます。点滴前にシャツを脱ぎ、病衣だけ着てください。 ・中止と伝えられた薬以外は飲んでください。 ◎中止薬	・翌朝まで点滴があります。	
検査	・入院時採血検査と尿検査があります。 ・胸のレントゲンを撮ります。 ・心臓エコー検査を行なうことがあります。 ・入院時と治療前日に心電図をとります。(胸に印をつけます。消さないでください。)	・局所麻酔なのでお話することができます。 ・医師や看護師が側にいます。気分が悪くなったり、苦しい時はお知らせください。	・病室に戻ってから心電図モニターをつけます。 ・定期的に心電図をとります。	・朝、心電図をとります。
活動・安静度	・自由または医師の指示となります。	・検査室まで帽子をかぶり、ストレッチャーで行きます。 (用意していただいたバスタオルを使います) ・身につけている貴重品・時計・眼鏡・指輪・コンタクトレンズ・入れ歯などは外してください。補聴器はつけていてください。	・股の付け根に入っていた管を抜いてから6時間は体を起こす、体を横に向ける、管が入っていた側の足を曲げるの行動ができません。 ・6時間後、圧迫帯を外します。10分後観察し、異常がなければ、ベッド上で自由となります。 ・足首を時々曲げ伸ばして下さい。	・朝8時頃医師の診察があります。 診察の時に絆創膏をはずします。 ・診察後は初めはゆっくり起きて歩きはじめてください。 ・尿の管は診察後、医師または看護師が抜きます。 ◎退院後の注意点
食事	・自由または医師の指示となります。	・(朝食・昼食)は食べられません。 ・水またはお茶を約500ml飲んでください。(ジュース・牛乳・炭酸はやめてください)	・治療後より食事が取れます。 ・食べやすいようにおにぎりに変更します。 ・検査後6時間は寝た状態で食事・水分をとってください。	・退院後、治療した部位が腫れる、硬いものが触れる症状がある時は病院内に相談してください。 ・入浴は2日目(/)から行えますが場合によっては1週間延期になります。その際は、退院時に説明します。
清潔	・入浴またはシャワー浴が行えます。(入浴できない場合は体をふきます。)	・入浴、シャワーはできません。		・治療した部分を強くこすらないように注意してください。傷口の絆創膏は入浴後に取ってください。
排泄	・自由	・尿の管を入れます。その後用意していただいたアンギオパンツをはきます。		
患者様およびご家族への説明 服薬指導 栄養指導	・医師から治療の説明があります。 ・看護師から入院生活と治療についての説明があります。 ・入院中に薬剤師から薬について説明があります。	◎治療前に準備してください ・バスタオル 1枚 ・水分 500n(水またはお茶) ・アンギオパンツ(3階の売店で購入してください)		・退院前に医師から治療結果の説明があります。 ・看護師から日常生活の注意点、次回予約、内服薬について説明があります。